

国語科学習指導案

日 時 令和2年 2月20日 (木)
児 童 3年生
授業場
授業者

1. 単元名「物語を読んでポスターで紹介しよう」～おにたのぼうし～

2. 単元の目標

「おにたのぼうし」や関連する作品の魅力を簡易的なポスターで紹介する活動を通して、登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像しながら読むことができる。

(中心となる指導事項エ 関わる言語活動例イ)

3. 単元観・児童観・指導観

児童はこれまで「C 読むこと (文学的文章)」領域において、自分で読んで感じたこと考えたことなどについて、学年・学級の仲間や低学年に向けて紹介する活動を行ってきた。その中で、児童は自分の考えを明確にしながらか表現しようとするようになってきている。この児童の姿を受け、本単元では登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりや結び付けながら具体的な根拠をもって想像し、表現に生かすことができるようにしていきたい。そこで、本単元においては指導事項エ「登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けながら具体的に想像すること」に重点を置くこととした。中心教材「おにたのぼうし」(教育出版3年生下巻)では、中心人物である「おにた」の心の葛藤が場面ごとの「女の子」との関わりから想像できるようになっている。さらに、「おにたのぼうし (題名)」を手掛かりとすると、「おにた」の性格や気持ちの変化を具体的に想像して読むこともできる作品である。

以上のことから、国語科で育みたい資質・能力を本単元において具現化していくために、以下の手立てを講じていくこととする。

学びの必要性を生み出す課題設定 I

○課題共有前後で、児童の「えっ!?何だろう?」「困った…」「知りたい!」「考えたい!」「話し合いたい!」などの思いを表出し、主体的に学びに向かうきっかけをつくる。

(例) 複数の文章との比較から、単元導入で書いたポスターの不完全さへの気づきを促す

資料提示から人物の気持ちの変化を捉えるための視点の不明確さへの気づきを促す

自他の表現を再検討する場を促す教師のかかわり II

○全体交流の場で「立場」「根拠」「共通点・相違点」等を問いながら「ずれ」を表出し、「○○さんの意見を聞いて自分も…」「○○さんの考えもわかるけど、やっぱり自分は…」など、自分の考えを捉え直ししながら、目標に迫っていくことができるようにする。

(例) 「異なる立場でも根拠が同じこと」や「同じ立場でも根拠が異なること」などを問い返し、複数の情報を比較しながら物語に対する考えを明確にできるようにする。

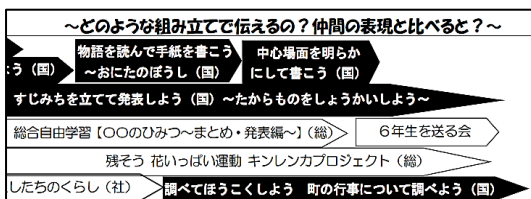
簡易的なポスターについて

○「題名=物語のカギになるアイテム」である作品(例:わにのおじいさんのたからもの・白い花びら)の魅力を紹介した文章

※付箋で毎時間の考えを蓄積(必要に応じて付箋を書き直したり、貼り直して分類したりする)

○自分が紹介したい学年に向けて図書室前に掲示(年間を通して物語を紹介するプロジェクトの一環)することを目的とした文章

4. 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり



本単元は「だれに?なぜ?を考えて伝え合おう」のパッケージに位置付けられている。このパッケージでは、国語「すじみちを立てて発表しよう」を核として、総合的な学習の時間や6送会などの行事と関連させながら表現する過程で自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにして

いくことを目的としている。本単元では年間を通して行ってきた3年生図書室プロジェクト(物語を読んで感じたこと考えたことなどについて相手意識を明確にしながらか紹介したり説明したりする活動)の集大

成となるようにする。これまでの国語科の単元との関連を図り、仲間とのコミュニケーションを図りながら表現・推敲する過程で自己の表現やその変容を実感できるようにしていく。

5. 単元を通して育む「コミュニケーション力」

「自分と友達の立場が違うな。理由は何だろう?」「同じ立場なのに理由が違うな。Aさんはなぜそのように考えたのだろう?」などと相互に関わり合いながら、言葉の妥当性を高めていく姿を本単元におけるコミュニケーション力を育てていく姿とする。ただし、本学級の児童の実態を考えると、単元終盤の自己の表現をイメージさせたり、本時の課題を提示したりするだけでは本研究で目指すコミュニケーション力の育成にはつながっていかない。そこで、前述の手立てを講じるとともに、必要に応じて、子供同士の関わり合いの価値をフィードバックすることで、単元を通して自律的にコミュニケーションを図っていくことができるようにする。

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 登場人物の会話や行動などの叙述やそれらについて考えた事柄を、紹介ポスターの表現に活用することができている。	ア 複数の場面を読み、登場人物の会話や行動などから「おにた」の性格を捉えることができている。 イ 複数の場面の叙述を結び付けながら、「おにた」の気持ちの変化を具体的に想像して読んでいる。	ア 関連する様々な作品を読み、題名に関わる自分なりの考えを模索しようとしている。 イ 他者と関わり合いながら自己の考えを整理し、表現物等の言葉を捉え直そうとしている。

7. 単元計画



時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 手立て	
		知	思	主		
1	○「題名＝物語のカギになるアイテム」である作品（並行読書教材）を読み、感想を交流する。			ア	手立てⅡ 必要に応じて自他の考えを再検討する場を設定し、作品のカギになるものに対する考えをもつことができるようにする。	
2	○図書室プロジェクトの最終章が始まることを知り、中心教材を読む。 ・中心教材の試し書き【紹介ポスター(Before)】をした後、学習計画を立てる			ア		
3	○中心教材を読んで感じたことや疑問に思ったことについてワークショップ形式で話し合う。	ア		イ	手立てⅠ 自己の立場をもつきっかけとなる複数の文章や表現を提示することで、自己の考えを見直す必要性を生み出すことができるようにする。 (例) 複数の… ・性格 ・消えた理由	
4	○中心教材を読み、おにたの性格を捉える。 ・「おにたのぼうし」というアイテムと性格の結び付きについて考え、ポスターに書く		ア	イ		手立てⅡ 特に、全体交流終盤で自他の考えを再検討する場を設定することで、「おにたのぼうし」で一番紹介したいことについての考えを捉え直して書くことができるようにする。
5 (本時)	○中心教材を読み、おにたの気持ちの変化を捉える。 ・大事な「おにた(自分)のぼうし」を残して消えた理由を探り、ポスターに書く		イ	イ		
6 ・ 7 ・ 8	○中心教材や並行読書教材を読み直し、自分が選んだ作品で紹介ポスターを書いたり、交流したりする。	ア		イ		

8. 本時案

(1) 本時の目標

- ・複数の場面の叙述を結び付けながら、「おにた」の気持ちの変化を具体的に想像して読むことができる。(思)
- ・話し合いの中で自他の考えの共通点・相違点を整理し、「おにたのぼうし」についての自己の考えやポスターに関わる言葉を捉え直そうとしている(主)

(2) 本時の展開 (5 / 8)

<p>学習活動 児童・生徒の姿</p> <p>○教師の働きかけ・発問 (△補助発問, □指示・説明) 手立て</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>◇評価の内容</p> <p>・指導上の留意点</p>
<p>1 単元導入時における考えを想起し、本時の見通しをもつ。</p> <p>○児童が前時までに想起した疑問やそれについての考えを提示し、自己との比較を促す～なぜ「おにたのぼうし」は残ったの?～手立てI</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 20%;"> <p>おにたはショックで逃げ出したと思うよ。</p> </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 20%;"> <p>おにたは悲しくて豆になったのだと思うな。</p> </div> </div>	<p>・立場に対して</p> <p>A: 逃げ出した</p> <p>～なぜ帽子だけ?の説明が必要</p> <p>B: 豆になった</p> <p>～なぜまだひどいことを言われた女の子の傍にいる?の説明が必要</p>
<p>なぜ「おにたのぼうし」がのこったの? 想ぞうして読もう</p>	
<p>2 個人思考・少人数交流: 自分の考え(逃げた・豆になった, だって〇〇な気持ちだったから..., 等)をノートに書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 20%;"> <p>あんなに大切にしていた帽子なのになぜ?</p> </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 20%;"> <p>逃げ出した理由は、女の子に迷惑がかかると思ったからではないかな。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 20%; margin-top: 10px;"> <p>「まだあったかい…。」という言葉があるから、豆になったとも考えられるよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 20%; margin-top: 10px;"> <p>立場は決まったのだけど、そう考える理由がはっきりしないな…。</p> </div>	<p>・人物の気持ちの変化と場面の移り変わりに関わりに着目できていない児童には、ペアやグループの中で近い考えを選択できるように関わる。</p>
<p>3 全体交流: 個人思考・少人数交流で出た考えについて話し合う。</p> <p>○自分の立場は?その理由は? 手立てII</p> <p>〈問い返し・補助発問 (必要に応じて)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大切なぼうし」と言ってたよね?置いていく? ・怒ったから逃げ出した?嫌いになったの? ・豆になっても近くにいたら結局女の子を悲しませるよ。 <p>★何が(どう)変わったの?変わらなかったことってある? (共通点・相違点)</p>	<p>【思～発言・ワークシート】</p> <p>◇複数の場面の叙述を基に人物の気持ちの変化についての自己の考えや表現を書いている。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>自分が逃げ出して、豆も残したから、悲しみながらも女の子のことを考え続けたと思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>おにたは悲しい気持ちにはなったけど、最後まで女の子のことを考え、豆になって女の子の願いを叶えたのでは?</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>場面が進むにつれて変わったこと、場面が進んでも変わっていないことがあるんだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>おにたの気持ちは変化したけど、女の子への思いは変わっていないと思うよ。</p> </div> </div>	
<p>想像して読んでみると…: おにたがかわったところ・かわらなかったところがおもしろいな!</p> <p>(悲しい気持ちになることを言われたけれど…, おにたは最後まで… etc)</p>	
<p>4 本時を振り返りながら、紹介ポスターの「Before」を再構成する。</p> <p>○今日、話し合ってみてポスターに書きたいことは? (紹介したい魅力)</p> <p>・やっぱり最後の場面を伝えたいな! おにたは悲しい様子になったけど、最後まで女の子のことを考えていたことについて書こう。</p>	<p>【主～発言・ワークシート】</p> <p>◇話し合いの中での気付きを基に考えやポスターの言葉を捉え直そうとしている。</p>



3年生図書室プロジェクト

～最終号～

年生に読んでほしい本

本の名前

おにたのぼうし

のココが面白い！

はずかしがり屋だからいつもかぶっている。

おにたにとってとても大切なぼうし。角をかくしている。

おにであることをかくすためのもの。

だけど、最後には、このぼうしだけがのこった。

最後は悲しそうなおにたの気持ちがあった。気持ちは変化したけど、女の子への思いは変わっていないと思う。

「氷が溶けたように…」と。逃げたのではなく女の子のためを思って自分は豆になることにしたのかもしれない。

顔写真

一言メモ：最後には「おにたは逃げ出した」「おにたは怒っていた」と考える人もいました。みなさんはどう思いますか？

3年 組



3年生図書室プロジェクト ～題名の謎がある作品～

____年生に読んでほしい本

本の名前

わにのおじいさんのたからもの

のココが面白い!

おにの子のやさしさやすなおな心にひかれた。

わにのおじいさんは、おにの子に宝物をあげると決めた。

おにであることをかくすためのもの。

最後には、角かくしのぼうしをとるほど感動した。

おにの子はわにのおじいさんのことを信じている。だから自分が見たものを宝物として信じたのだと思う。

でもおじいさんの宝物ではない。おにの子のきれいな心が夕やけを宝物にしたのかもしれない。

顔写真

一言メモ：わにのおじいさんは、おにの子に自分だけの宝物を見つけてほしかったという考えの人もいました。あえて夕日のある場所に案内したのではと…。みなさんはどう思いますか？

3年 組
